

2018年度 IoTビジネス検討WG 年間計画

～2017年度活動概況と2018年度基本方針を踏まえて～

IoT推進委員会全体会合

2018年10月18日(木)

一般財団法人 インターネット協会

IoT推進委員会

IoTビジネス検討WG

座長 佐々木一人

〔株式会社インターネット総合研究所〕

IA *japan*

目的

参画メンバー

2017年度活動方針

2017年度活動概況

2018年度活動基本方針

2018年度活動計画

IoT推進委員会の設立趣意・目的

『情報通信産業とその利用産業分野（建設業、運輸業、製造業、農業、医療など）との接点を持ち、それぞれの産業分野での課題を共有した上で、ビジネス創造の場とする。』

IoTビジネス検討WGの目的

会員企業相互の交流を図りつつ、適用分野の整理と課題を共有し、先行事例を踏まえながら、ビジネス化検討の支援を行う。

IoTビジネス検討WGの目指す姿

他のWGと連携を図りながら、IoTビジネスの創生を目指す。

IoTビジネス検討WG参画メンバー

- 2018年9月末時点のIoTビジネス検討WGの会員
参加メンバー17社（31名）、オブザーバー5社・団体（11名）が参画。

《メンバー》

株式会社インテック
株式会社インターネットイニシアティブ
株式会社インターネット総合研究所
EMCジャパン株式会社
NTTコミュニケーションズ株式会社
エブリセンスジャパン株式会社
KCCSモバイルエンジニアリング株式会社
東京ガスiネット株式会社
株式会社DTS
日本インターネットエクステンジ株式会社
株式会社日本レジストリサービス
Biz Mobile株式会社
フリービット株式会社
ヤンマー株式会社

《メンバー～続き～》

三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社
かもめエンジニアリング株式会社
アルテリア・ネットワークス株式会社

17社

《オブザーバー》

総務省 情報通信国際戦略局 通信規格課
経済産業省 商務情報政策局 情報経済課
株式会社産業革新機構

一般社団法人iOSコンソーシアム
一般財団法人インターネット協会（他WG座長含む）

5社・団体

《事務局》

株式会社IoTスクエア
株式会社インターネット総合研究所

2社

合計24社・団体（事務局を含む）

2017年度活動方針

2016年度は、

- 4月からの約1年間、WGの下に2つのSWGを組成し、メンバー間での情報収集・共有による協調・共創型ビジネスの実現を目指して活動。
- IoTビジネス推進の鍵である『データ利活用促進』に関連する規制・制度の環境整備について検討し、現状や課題、また、対応状況についての整理を指向。
- 情報収集、情報共有の場として、WGメンバーのみならず、WGのオブザーバーである機構・団体様の活動方針や方向性、またその展開状況を理解することも重要との認識から、ミニ講演講師にWGオブザーバーの機構・団体様も招聘し、内容の充実を図る。

2017年度の活動方針

ビジネス検討WGの下に組成した2つのサブワーキング（SWG）活動、ミニ講演会活動を継続し、先導的かつ独創的、また、IAJapan『らしさ』を求めたより具体的な取組みを推進する。また、利用産業分野との共創の推進、実証実験WG（真野座長）との連携を図りつつ、協調・相互交流を推進する。

⇒ 実ビジネスの組成に向けてビジネス共創の加速化を図る！

2017年度活動概況(1)－WG①－

2017年度は合計5回のWGを開催

- **2017/ 6/29 : 第1回WG** [場所 ; ハロー会議室湯島御徒町]
 - IAj IoT推進委員会の2017年度活動方針
 - IoTビジネス検討WGの活動方針・計画と意見交換
 - SWGの活動方針・計画と意見交換

- **2017/ 9/ 6 : 第2回WG** [場所 ; ハロー貸会議室淡路町]
 - ミニ講演『最新のIoTビジネスチャンスについての考察』
IAj 副理事長、IoT推進委員会 副委員長 木下剛氏
 - SWGの活動報告と意見交換

- **2017/11/21 : 第3回WG**
[場所 ; TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター]
 - ミニ講演『データ流通推進協議会のご紹介』
IoT実証実験WG 座長、データ流通推進協議会 代表理事 真野浩氏
 - SWGの活動報告と意見交換

2017年度活動概況(2) -WG②-

2017年度は合計5回のWGを開催～続き～

■ 2018/ 2/13 : 第4回WG

〔場所； TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター〕

- ミニ講演『中国の新しいものづくりを探る-上海・深圳視察報告』
IAj IoT推進委員会 事務局長 小野好之氏
- SWGの中間レビュー結果と意見交換
- 実証実験WGへのPoCテーマの提案

■ 2018/ 3/13 : 第5回WG

〔場所； TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター〕

- SWGの本年度活動報告と意見交換
- 実証実験WGへのPoC提案の進捗報告
- IoTビジネス検討WG本年度活動報告（案）
- IoT推進委員会の新協議会設立について
（IoT/AI時代におけるオープンイノベーション推進協議会の設立）

2017年度活動概況(3) - SWG -

- 2017年度は、2016年度に組成した2つのSWGを中心に、メンバー間の連携協調・共創によるビジネス化と実証実験に向けての活動を推進。

SWG-A： データ流通SWG

《目的・目指す姿》

企業内の保有データ・センサデータ等、現在、一般に公開されていない情報やデータの利活用と、その促進を図り、必要な人（企業）が、必要な時に、低廉かつスピーディに利用可能なデータ流通のためのエコシステム型プラットフォーム（PF）の構築を目指す。

《参加企業》

(株)DTS（主査：宮田氏）、(株)インテック、エブリセンスジャパン(株)、かもめエンジニアリング(株)、NTTコミュニケーションズ(株)、三菱電機インフォメーション(株)、(株)インターネット総合研究所 計7社

《活動概況》

概ね月1回程度（全7回）のSWG会合を実施。データ流通市場の市場性について調査（マクロ分析、市場サイズ分析、市場のチャンス/脅威分析等）、市場性の評価を実施。さらに、本年度の活動のアウトプットとして成功シナリオを作成。

SWG-B： IoT無線方式からのビジネス展開検討SWG

《目的・目指す姿》

IoTビジネス用途の無線規格であるLPWANが注目されてきており、この主な特徴である『低価格』や『電池駆動でロングライフ』、『超広域エリア』を生かしたIoTビジネスの創出を検討する。

《参加企業》

KCCSモバイルエンジニアリング(株)（主査：椎野氏）、NTTコミュニケーションズ(株)、(株)日立製作所、フリービット(株)、(株)インターネット総合研究所 計5社

《活動概況》

今年度は全5回のSWG会合を実施。2016年度から継続検討してきた「IoT無線方式（LPWA）からのビジネス展開」をテーマに、LPWAの優位性の検討・確認、Sigfoxエッジデバイスからの取得データ利用の検討等を実施。本年度の活動結果を踏まえ、実証実験WGへのPoC提案を実施。

2017年度活動概況(4)

● 実証実験WGとの連携活動

《目的・目指す姿》

本年度の活動方針に掲げた「実ビジネスの組成に向けてビジネス共創の加速化を図る！」の実現手段の一つとして、実証実験WGとの連携を目指したPoC提案を実施。

《実証実験への提案》

本年度の活動成果として、ビジネス検討WGから実証実験WG（真野座長）へ、以下の2つのPoC提案を実施。

1. LPWA優位性適合検証

提案者：SWG-B 椎野リーダー

提案内容：LPWAの優位性を適合確認するため、エッジデバイスとユースケースの検証や、KCMEのSigfoxネットワークのPFとデータ流通PFとのデータ連携検証 等。

2. データ取引市場での実践的ユースケース実装によるデータ流通実証

提案者：エブリセンスジャパン（株）・KCCSモバイルエンジニアリング（株）

提案内容：データ流通の実践的なケースを実装し、エブリセンスジャパンのデータ取引市場を使って、データ流通に関わる各種実証・運用 等。

⇒ **実証実験WG向けPoC提案は、IAJapanと、（一社）データ流通推進協議会（DTA）との共同実証へ発展展開することに！！**

2018年度活動基本方針

《今年度の振り返り》

- 2017年度は、WGのさらなる発展・展開を目指し、2つのSWG活動や、ミニ講演の開催等、メンバー間のさらなる連携と共創によるビジネス化の推進に注力。
- SWG活動に関しては、当初掲げた目標である実証実験WGとの連携の一つとして、PoC提案を実施。その後、本PoC提案は、IAJapan実証実験WGと（一社）データ流通協議会 利用推進委員会 流通実証WGとの共同事業として「データ流通実証実験タスクフォース」の組成に発展。
- ミニ講演は、情報収集、情報共有の場としてのみならず、オープンイノベーションやエコシステムの創造に寄与するものと認識。

《2018年度ビジネス検討WGの活動基本方針》

2015年～2017年度の約3年間の活動を総括して、

* 良かったところは積極的に、維持・継続。

* 不十分だったり、課題が残ったところは、その改善に努める。

メンバー各位の具体的なIoTビジネスの創造とその実現に向けて、様々な連携も模索しながら、さらなる推進と展開を図る！！

2018年度活動計画

《2018年度の活動計画（案）》

- 2018年度WGの活動基本方針に従い、
 - WGのさらなる発展・展開を目指し、SWG活動、ミニ講演を継続実施。
 - メンバー利用産業分野との共創推進、IoTビジネス創造とその実現においては、メンバーの協調・相互交流によるワークショップやイベント（アイデアソン等）の開催を企図。また、OICとの連携も模索しながらビジネス共創の加速化を図る！

- 今年度のWG開催は、年度内3回を予定。

《第1回》 11月中に実施予定

- * 本年度のIoTビジネス検討WGの活動方針・計画
- * SWG活動方針・計画（データ流通実証実験タスクフォースの活動報告）
- * ミニ講演

《第2回、第3回》 1月～3月に実施予定

- * ミニ講演
- * ビジネス・アイデア創出ワークショップ

メンバーの皆さん、WG活動に対するご理解と積極的な取り組みに感謝致します！



IA japan